

会 議 録

会議名	令和6年度第4回東浦町食育推進委員会	
開催日時	令和7年3月27日(木) 午後2時00分から午後3時30分	
開催場所	東浦町勤労福祉会館 会議室1	
出席者	委員	石川恭央氏、太田江美氏、林佑亮氏、水野雅宣氏、水野善久氏、山崎紀恵子氏、柴田裕子氏、間瀬千恵子氏、園田祐美子氏、田島由美子氏、アドバイザー 水野正明氏
	事務局	三浦健康課長成田健康課成人保健係長、青山健康課成人保健係主事、水野農業振興課農政係長、鶴島農業振興課農政係主事、村上商工振興課長補佐兼商工観光係長、鈴木商工振興課商工観光係主事
欠席者	なし	
議題等	1 令和6年度事業の報告について 2 令和7年度の計画について 3 委員会全体の講評	
傍聴者の数	0名	
審議内容	<p>◇事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・配布資料確認 ・会議の成立 要綱第6条第2項に基づき、委員の2分の1以上が出席していることから、会議の成立を報告。 ・健康課長挨拶 ・委員長挨拶 <p>以降は、委員長が議事を取りまわす。 (議題1) 令和6年度事業の報告について</p> <p>◆事務局</p> <p>資料1、2により、令和6年度事業の報告を共有する。 各イベントの様子及び反省について、各担当委員から共有する。</p> <p>令和6年度産業まつりの報告について</p>	

◆事務局

令和6年11月9日に開催された産業まつりにてブース出展を行った。リボーングルメの販売を行った。健康店のクイズラリーのスポットの設置を組み合わせ、骨折予防の4要素のPRを行った。健康店のクイズラリーが昨年の282名から553名に増加したことやリボーングルメが好評により完売したことから効果的に周知ができたと考えられる。

◇委員

クイズラリーのスポットとなっていることでリボーンの日を知っていただけたと思う。出展場所に関してもとてもいい位置であり良い1日となった。

約9割「毎日食べる」と回答した。令和7年度は生活習慣の改善や食べる意味を

小学4年生から中学3年生に向けたアンケート結果について

◆事務局

東浦町の小学4年生から中学3年生に向けて食に関するアンケートと調査を行った。今後3年間同様のアンケートを実施し、追跡を行っていく予定。

アンケートの回答率が5.9%ととても少なかったため、アンケート送付後のLINEでの周知、産業まつりの健康展にてその場で回答をいただく等の改善が必要と考える。年齢が上がるに食べない子が増えていく予想だったが、各学年数人食べてないという回答だった。幼少期から食べることが習慣になっていると感じた。朝食啓発について、朝食の重要性を知ってもらうことが大切だと思う。広報、SNS等により啓発をしていきたい。朝食の重要性を知ってもらった後に生活習慣化を進めていくために啓発活動を進めていく。朝食の内容が炭水化物系が多かったので、より質が高い朝食を摂ってもらえるようにレシピの啓発や食事のバランスが確認できるツールが必要。

97%が東浦町で有名なことを知っており、89%が町産のぶどうを食べたことあると回答した。80%の人がぶどう以外の特産品を知らないと回答した。食育体験プログラムにてぶどうについても伝えつつ他の特産品についても伝えたいと感じた。

49%の人が工場見学を体験してみたいと回答した。料理体験や農業体験は学校機関で体験する機会が多いため、なかなか体験する機会の少ない工場見学が人気なのではと思った。しかし、工場

見学から食育に持っていくための見せ方が重要と思った。

10月26日実施 ぶどう畑の宵マルシェ

◇委員

200名近い人がぶどう畑を訪れた。会場の雰囲気は、子供の参加が多かった印象がある。次年度もイベントを通して東浦の特産品等のPRと食に対する興味を促進できるような働きかけを行っていききたい。

3月24日実施 お米でつながる地産地消

◇委員

トーエイにて作ったお米を弁当のお米に使った。他にも町内でも様々な取り組みをしていると思うが、このような事例をPRし、広がっていけばいいと感じた。

意見・質問を問う。

◇委員

以前に緒川小学校3年生に向けたアンケートと同じような実施方法か。

◆事務局

以前は対象者に紙で配布したが、学校と相談した結果、今回はtetoruにて配信し、WEBにて回答をもらった。

◇委員

回答率が上がるように学校との協力を図っていくべきではないか。

◆事務局

来年度以降、イベント等を活用しながら回答率が上がるように工夫していく。

また、学年別での回答数、地区別での回答数の差はなかった。

◇委員

学校の教育の中に「食育」を植え付けていくということが必要だと思う。

SNS等では限りある人にしか届かないため、教育の中に落とし込めるとよいと思った。

◆事務局

各学校にいる栄養教諭さんが学年ごとにテーマを持って授業を行っている。栄養教諭たちと連携を取っていききたいと思ってい

る。

◇委員

宵マルシェに参加した。大人も親子も楽しめる雰囲気が高く、あの場でしか知れない知識があると思う。今後もぜひ続けてほしい。

◇委員

アンケート調査の質問2「回答を選んだ理由を教えてください」という項目は自由筆記でしょうか。

◆事務局

自由筆記です。

(議題2) 令和7年度計画について

◆事務局

資料3、4に沿って、令和7年度計画について説明。

◇委員長

意見・質問を問う。

◇委員長

役場のいろんな事業に予算がついてると思いますが、来年度も予算もついていますか。宵マルシェは令和7年度開催可能ですか。

◆事務局

宵マルシェは令和6年度に団体に寄付をいただき開催したので基本的には予算がついていません。企業に協力いただいている事業は、企業のPRにつながるということで企業のご厚意でご協力いただいているという現状。主に消耗品等の予算はあります。

◇委員長

本当は、予算はつけてほしい。

◆事務局

今年度の宵マルシェは地域の皆さんが主体となって実施しているが、行政も一緒に汗を流して取り組んでいる。

◇委員長

町として予算がついていないと、委員としても何のための計画なのかとってしまうので予算はつけてほしい。

◇委員

当社で朝食の取り組みを考えており、若い世代が定着して力をつけて盛り上げていこうと考えている。始業前に会社で朝食を提供する。そのために調理師をパートタイムで雇うという計画を考

えている。

◆事務局

企業で朝食の取り組みを行っている行政としても朝食について説明しに行くことやチラシ等のPRができるのでありがたいと思っている。

◇委員

7年度の目標が周知活動というのがメインということで、予算の関係で活動範囲が限定される。新しい取り組みや活動が町内で随時開催されていくと思う。この取り組みをSNS等で発信していけると良いと思う。SNSの活用を強化していく年度にしてほしい。できないこと、わからないことは委員に聞いてもよいと思う。

◆事務局

取り組みを広げていくことも行政の仕事だと思う。令和7年度は、教育機関等を回りながら活動を発信していきたい。

◇委員

地域食堂が少しずつ増えている。緒川新田地区にも月に1回朝食を提供する事業が始まる。

(議題3) 委員会全体の講評

名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部

先端医療・臨床研究支援センター長：水野正明先生

◇アドバイザー水野氏

令和6年度の事業であるRe-Bone グルメという言葉は、東浦町以外でも有名になってきている。この言葉ですべての食育プログラムを統一すると広がるし東浦町内で行っていることが目に付く。1つのコンセプトが統一されているとすべてまとまってくる。国立長寿医療センターに行った際に理事長はじめ職員の多くがリボンビールのことを知っていた。より周知することに努めてほしい。骨折予防に必要なのは小中学生なので学校と連携をとることは必須。国の計画では、健康寿命の伸長が目標となっているのでそこを考えながら動いていくのが良い。朝食は習慣でなければならない。食べる食べないの世界ではない。100%の人が朝食を食べるようになるために、地域の人と協力して普及してほしい。音頭をとれるのは町だけということは忘れないでほしい。

(その他)

◆事務局

	<p>於大まつりでの食育ブース出展について報告。 食育推進委員会事務局職員の異動について報告。</p> <p>閉会を宣言。</p>
	なし